

多久市のごみは高カロリー！?

多久市の可燃ごみで最も多いのは、紙・布類やビニールなどといった燃えやすいごみ、この業界で言う「カロリーが高い」ごみです。カロリーが高いとガスの発生や炉内温度の上昇により施設の消耗が早くなり、維持管理費が高くなります。また、燃焼管理も難しくなり処理時間も長くなってしまうなど、市の財政面でもごみの「カロリーを抑える」ことが望まれています。ごみ減量への取り組みや分別へのご協力をお願いします。

ごみ減量のポイント！

- 無駄なものは買わない
- 紙類はできる限りの分別をし、古紙類の日に出しましょう
- 「使い捨て」商品なるべく使わないようにしましょう
- マイバッグを携帯し、ビニールごみを減らしましょう
- 必要なものを必要な分だけ購入しましょう

- リサイクルショップ・フリーマーケット・バザーなどの活用を考えましょう
- 修理して長く使う努力をしましょう
- 地域や店頭などのリサイクル活動に積極的に参加しましょう
- 洗剤やシャンプーなどは「詰め替え用」を利用するとごみの減量になります



可燃ごみの内訳（平成24年度）

順位	種類	割合
1位	紙・布類	59.3%
2位	ビニール・合成樹脂・ゴムなど	24.5%
3位	厨芥類（生ごみなど）	6.3%
4位	その他	4.6%
5位	木・竹	2.9%



清掃センターからの お願い

- ごみ出しは、収集日の8時30分までに所定の場所に出してください。（収集後に出てきたごみは回収できません）
- ビン類と金属類は混ぜないでください。収集日が違いますので、それぞれの収集中にビン類と金属類は別々に出してください。
- プラマークのないプラスチックや汚れのひどいものは、燃えるごみに出してください。
- ビン類は中身を取り除き、軽く洗ってキャップを取り外して出してください。
※ビンのキャップが金属の場合は、キャップは金属類で出してください。
- 缶の中身は取り除き、軽く洗って出してください。
- ペットボトルを切ったり加工した場合は、燃えるごみで出してください。

■問い合わせ 多久市清掃センター

☎ 75-3001

プラスチック製容器包装



委託先の中間処理施設に集められ、不純物を取り除き一定の大きさに圧縮梱包します。

処理量 65 t

PETボトル



清掃センターで、圧縮し約20kgの塊にします。これはPETボトルが軽いため、運搬の効率化を図るためです。

処理量 25 t

容り協を通じてリサイクル事業者でパレット、プラスチック板として処理しました。

容り協を通じてリサイクル事業者で繊維などとして処理しました。

※容り協から市へ抛出金が入る場合があります。

※容り協とは、日本容器包装リサイクル協会の略

■問い合わせ 市民生活課 生活環境係 ☎ 75-6117